

13 立山町（3校）

チャレンジ10通信

- ・ 利田小学校
- ・ 釜ヶ淵小学校

学校名	立山町立利田小学校		参加児童数	30 人
担当教諭	嶋倉 先生 源甲斐 先生	担当推進員	米田 千恵子 さん	
取組期間	10月5日～11月1日		取り組んだ期間	4週間

環境チャレンジ教室

○日 時 令和2年9月28日(月) 10:15～12:00

○使用教材

- ①パネル6枚
- ②地球儀
- ③コンセント(タップ)
- ④乾燥剤、カイロ
- ⑤ペットボトル、リサイクルで製品になるまで(材料)

○説明内容など

3限

- ・地球温暖化になるしくみ(地球儀)
- ・事前に調べたことを発表してもらう
- ・温暖化になると・・・困ること(パネルを見せながらクイズで小休憩)
- ・食品のムダ(ロス)の現状

4限

- ・チャレンジ10の取り組み方について ③、④、教材で家族全員で1チームでそれぞれ担当を決める
- ・ペットボトルのリサイクルで製品になるまで(見本)
- ・食品ムダ・生ゴミを出さない取組について

【環境チャレンジ教室の様子】



推進員から児童のみなさんへのメッセージ

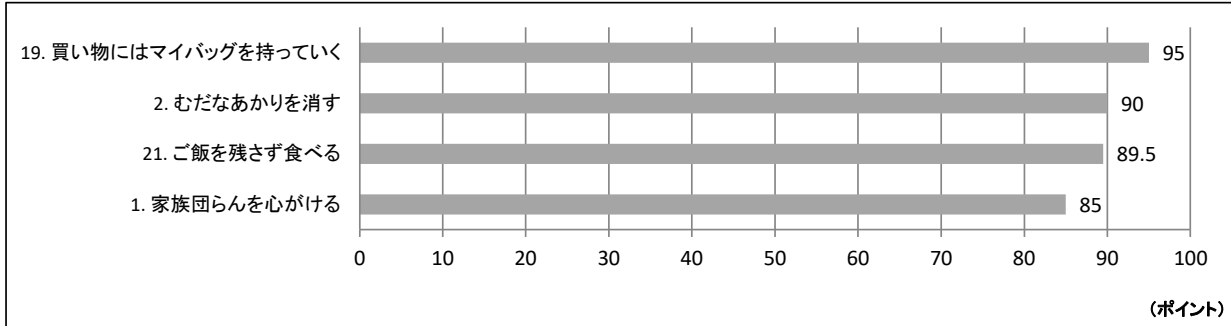
今年度は特に大変な中にも関わらず、事前学習等もして頂き、とても嬉しく感動しました。県の環境保健衛生大会等に環境カベ新聞、ポスター等に公募してほしいです。

利田 小学校のみなさんへ

みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、お知らせします。

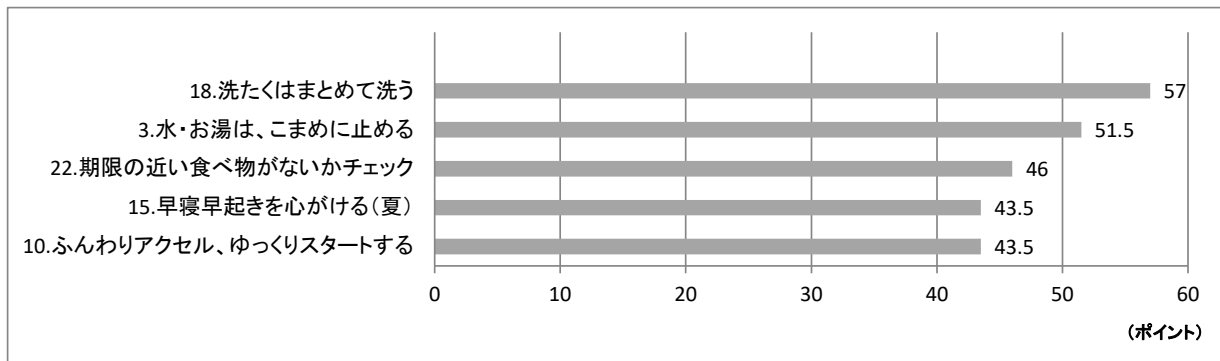
とりくみ期間： 10月5日～11月1日 の 4 週間

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 1,008 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 100,768 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 72 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

約 110,268 円

3. 工夫したこと

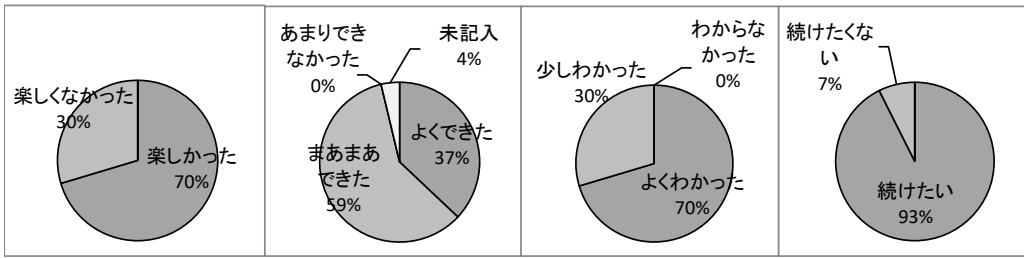
○工夫したこと

- ・マイバッグやかごはいつも車に入れるようにした。
- ・だれも使っていないあかりをチェックして使っていないあかりを消した。
- ・お風呂に入るときはなるべく多い人数で入るようにした。
- ・テレビばかりでなく家族と話をした。

など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ③地球温暖化は、どのような問題かわかりましたか？
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

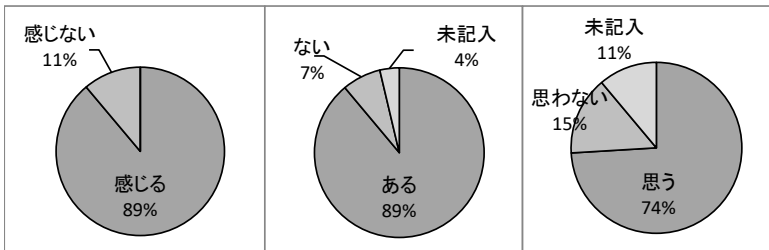


○感想やがんばりたいこと

- これからも温暖化が進まないように、マイバッグを持つ、近くのスーパーには歩いて行く、家族みんなで声かけて取り組む。
- 少しでも地球温暖化防止に取り組みたいです。
- 「テレビを見る時間を減らす」に「まあまあできた」が2つもついてしまったので気を付けたい。
- これからもっと地球温暖化防止の取組をして少しずつ地球温暖化を減らしていきたいと思いました。
- 温暖化になったらどれくらい気温が上がるのか知りたい。
- 今後地球温暖化が進まないようにリサイクルとかももっとする。
- このことをきっかけに、地球温暖化を止める取組を増やしたい。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まりましたか？
 ②習慣化した取組がありましたか？
 ③チャレンジ10の取組により、家計の節約になったか？



○感想や意見

- 地球温暖化を防止するために出来る具体的な内容をたくさん知ることができ良かったと思います。
- 家族で声をかけ合って取り組めたことがとても良かった。
- 些細なことでも日々の積み重ねで節約にもなると思うので、続けていくことが大切だと思いました。
- 車にマイバッグやかごを常に置いておく。
- なるべく家族みんなが一緒の部屋にいるようにした。
- 元々地球温暖化については興味があり、節約にもつながるので前から気を付けていることが多かったのですが、子供も一緒にやることで、より効果が出るようになったと思います。
- 取組から派生して環境問題に関する本を読んだりするようになったのは良かったです。

これからもチャレンジ10のとりくみを続けましょう！



学校名	立山町立釜ヶ淵小学校		参加児童数	15 人
担当教諭	金山 先生	担当推進員	村井 邦雄 さん	
取組期間	9月12日～10月26日		取り組んだ期間	2週間

環境チャレンジ教室

○日 時 令和2年10月6日（火） 10：40～11：25

○使用教材

自作のパワーポイント

○説明内容など

パワーポイントにより、以下の順で説明した。

- ・大きな地球で人が住むことができるのはほんの僅か！
- ・地球温暖化とは何か（動画と併せて二重に説明）
- ・今、地球で何が起きているか
- ・これらのことがどうして起こったのか
- ・このままだと地球はどうなるのか
- ・わたしたちのできることは何か
- ・もったいない探しのクイズ

【環境チャレンジ教室の様子】



推進員から児童のみなさんへのメッセージ

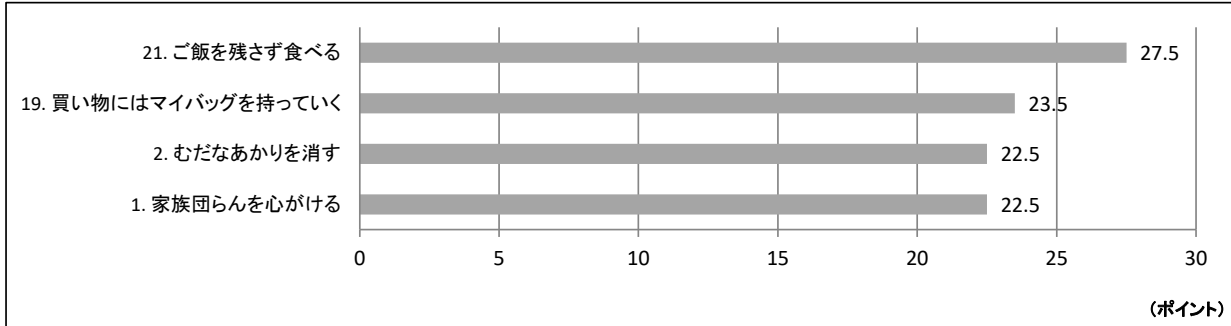
地球温暖化防止の取り組みは、些細なことでよいので
 ずーっと続けてもらいたいです。
 身近にある“もったいない”を家族みんなで見つけて減らしてください。

釜ヶ淵 小学校のみなさんへ

みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、お知らせします。

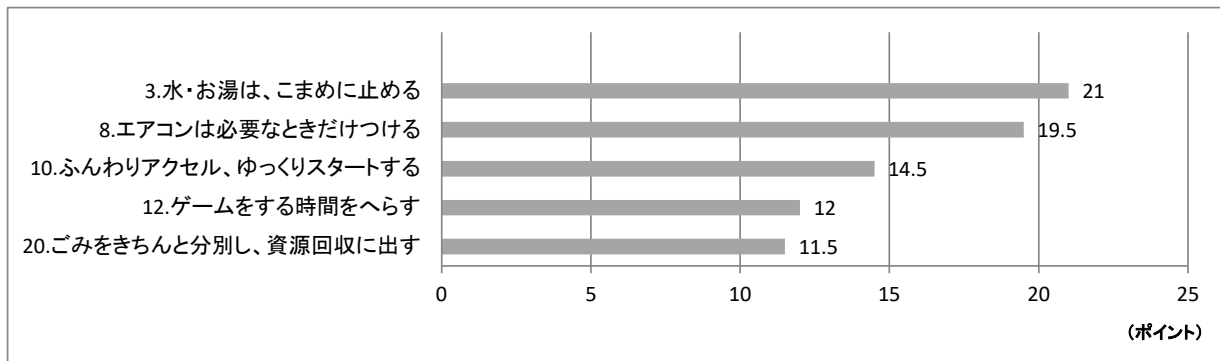
とりくみ期間： 9月12日～10月26日 の間の 2 週間

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 379 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 37,885 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 27 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

約 29,635 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

○工夫したこと

- ・夜に、あまり使っていない部屋の電気を消すようにしました。
- ・買い物は、必ずエコバッグを持って行きました。
- ・ごみの分別を家族できちんとしました。
- ・家族でトランプをして団らんを心がけました。

など

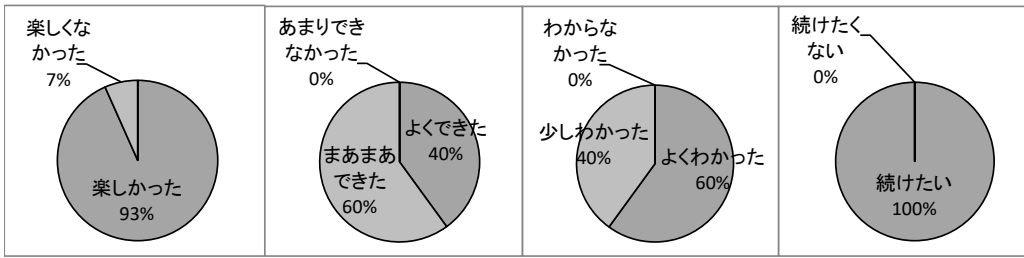
○独自のとりくみ

- ・まだ使えるものをすぐ捨てない。
- ・不要になった紙のうらをメモ用紙にする。
- ・古いタオルをそうきんにしてそうじる。
- ・食材をむだなく使う。

など

4. ふりかえり

- ①やま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ③地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

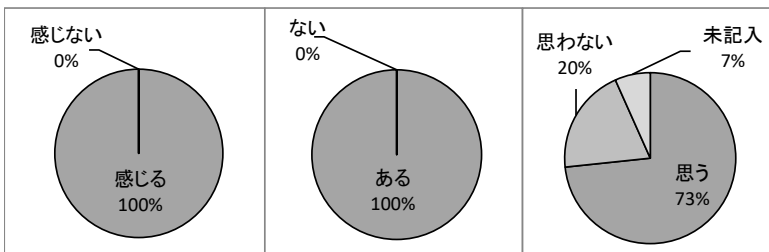


○感想やがんばりたいこと

- ・取組ひょうかで「よくできた」が多かったのでよかったです。
- ・地球温暖化を止める取組の中に、いつもしていることがあるから毎日続けようと思いました。
- ・大変だと思っていたけれど、やることは簡単だったのでこれからも続けたいです。
- ・他にもできることがないか考えたいです。
- ・週に1回だけなどルールを決めて、ゲームの時間を減らしたいです。
- ・エコな生活をして、みんなかいてきにくらせるようにしたいです。
- ・これからも、手洗いする時は水をちゃんと止められるようがんばりたいです。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありましたか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



○感想や意見

- ・必ずエコバッグを、車やかばんの中に入れていました。急に立ち寄ったコンビニでも、さっと使えました。
- ・ごみを分別するために、新しいごみ箱を用意しました。分別すると、燃えるごみの量が減りました。
- ・お互いに声をかけあうと、気付いていない人に知らせることができました。
- ・取組例で知識が深まり、意識も高まってよかったです。
- ・意識して取り組むことで「やるのが当たり前」になりました。すごくよいきっかけになり、続けていこうと思います。
- ・子どもに電気のことを言われて、感心しました。

これからもチャレンジ10のとりくみを続けましょう！

